

科目名	化学	担当教員	太田 克矢	時間数	30	時期	1 年	前期
学習目標	病気の解明や治療は、人体を構成する物質の働きや変化と深く関係し、これには代謝とよばれる化学反応が深く関与する。このため、歯科衛生士をはじめ医療関係者に化学的知識(概念)は不可欠である。この化学的な概念は生化学・生理学・薬学などを学ぶための重要な基礎ともなる。講義では、化学的な基礎概念の定着を達成するよう配慮し、適宜、専門(基礎)科目や臨床現場での関連についても言及する。							
教科書	歯科衛生学シリーズ 化学					授業形態	講義	
参考書								

授業内容

回	項 目	授 業 内 容	備考
1	1章 物質とは何だろう	・分子や原子を実感する(演示実験) ・原子の構造と電子, イオン, 分子量, モル	
2	1章 物質とは何だろう	・化学結合, 物質の分類	
3	2章 気体について知ろう 3章 物質が水に溶けるとは	・空気の成分 ・気体を使う(医療, 生活への応用) ・水溶液, 濃度の表し方	
4	3章 物質が水に溶けるとは	・水溶液, 濃度の表し方 ・希釈や薬品の計算方法演習その1	
5	3章 物質が水に溶けるとは	・希釈や薬品の計算方法演習その2 ・浸透圧を実感する・コロイド	
6	3章 物質が水に溶けるとは	・酸とアルカリ, pH ・緩衝作用	
7	4章 酸化とは, 還元とは	・酸化と還元 ・金属のイオン化傾向	
8	5章 化学反応では原子の組換えが起こっている	・化学反応の速度 ・化学平衡	
9	6章 有機化合物とは何だろう	・有機化合物とは ・有機化合物の表し方	
10	6章 有機化合物とは何だろう	・有機化合物の命名 ・異性体	
11	6章 有機化合物とは何だろう	・代表的な有機化合物 ・高分子化合物	
12	7章 ヒトをつくっているものは何だろう	・人体を構成している物質, 糖, 脂質	
13	7章 ヒトをつくっているものは何だろう	・アミノ酸 ・タンパク質 ・核酸	
14	まとめ	まとめ	
評価方法		筆記試験	
備 考		学生全体の理解状況を考慮して一部内容の深度や進行内容を変更することがある。	

科目名	生物学	担当教員	野口 輝雄	時間数	30	時期	2年	前期
学習目標	生物を総合的に見て理解し、興味を持って生物に接する態度を身につける							
教科書	必要に応じてプリント等を配布する。各自A4サイズのノートを準備してください。					授業 形態	講義と 野外観察	
参考書	特に使用しない							

授業内容

回	項 目	授 業 内 容	備考
1	生命と細胞	・自己紹介と前期授業の計画紹介 ・生命の誕生と変遷 ・細胞について	
2	植物の世界 1	・植物の命を考える ・植物の観察(野外観察)	
3	植物の世界 2	・植物と人間との関係 ・食べられる野草と毒草(野外観察)	
4	生物の食物連鎖	・生物の弱肉強食の世界 ・植物性プランクトンからアマゴまで ・河川の生物調査1	
5	生物の多様性 1	・身近な川底の生き物観察1 ・川底に生きる生き物たち(野外観察)	
6	生物の多様性 2	・身近な川底の生き物観察2 ・川底の生き物の分類と川の汚染度調査	
7	新たな生命の起源	・生命の起源は宇宙から ・最新アストロバイオロジー ・パンスペルミア節	
8	不思議な生き物1	・菌類の生態ときのこ ・地衣類の共存共生から	
9	生命の科学、消化	・生命の発生と神秘(人間) ・人体の消化機能	
10	魚の消化器官	・人と魚の消化器官 ・魚の解剖(解剖実習)	
11	自然を見る目	・生物ネイチャーゲーム ・生物の生態ゲーム ・生物観察ビンゴ	
12	不思議な生き物2	・ほたとカワニナ ・カワニナとほたつの生態	
13	環境と人間 1	・遺伝と環境について考える	
14	環境と人間 2	・地球環境と人間 ・これからの地球環境を考える	
評価方法		論文形式の筆記試験+授業用ノート評価 + 意欲的な授業態度の評価	
備 考			

科目名	心理学	担当教員	松本 順子	時間数	30	時期	1年	前期
学習目標	心理学とは人間についての科学である。一人の人間としての患者を全体的に理解するためには、心理学の知識は不可欠となる。本講義では、注意深い観察や厳密な実験を用いて人間や動物の様々な行動の原因を探索してきた多くの理論と研究について紹介し、絶え間なく変化する心を解明するための知識体系を学習する。							
教科書	特に使用しない					授業 形態	講義	
参考書	適宜紹介する							

授業内容

回	項 目	授 業 内 容	備考
1	オリエンテーション, 自己	講義の進め方, 心理学とは Iとme, 自己意識の発達	
2	感情, 非言語的コミュニケーション	基本的感情, 感情に関する学説, 感情の機能 非言語的コミュニケーションの種類と働き	
3	対人知覚, 社会的認知	印象形成, 予言の自己成就, 対人知覚のバイアス スキーマ, スクリプト, ヒューリスティックス, saliency	
4	対人魅力	対人魅力に関連する要因	
5	パーソナリティ	類型論, 特性論	
6	記憶	感覚記憶, 短期記憶, 長期記憶	
7	感覚・知覚	図と地, ゲシュタルト的知覚, 錯覚, 恒常性	
評価方法		試験 ・ レポート ・ 授業態度 ・ 出欠席状況 ・ その他 ()	
備 考			

科目名	倫理学	担当教員	屋良 朝彦 井村 俊義	時間数	30	時期	1年	後期
学習目標	歯科衛生士にとって必要な倫理的な思考法を学ぶ。							
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修 『歯科医療倫理 第2版』					授業 形態	講義・ ディスカッション	
参考書	塩野・清水共著『生命倫理への招待』（南山堂、2007年、1900円＋税）							

授業内容

回	項 目	授 業 内 容	備考
1	導 入	(1) 論理パズル (2) ビデオを見て、倫理的な問題を考える。	
2	第1章 歯科衛生士の心構え	なぜ、いま歯科衛生士に医療倫理が必要なのか？ 歯科衛生士という立場はどのようなものか？	
3	第2章 医療倫理と バイオエシックス	医療従事者としての職業倫理とバイオエシックスについて	
4			
5	第3章 インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセント(十分な説明を与えたうえでの同意)とは何か	
6	付章 行動科学: 患者への働きかけ	医療者は医療現場において患者にどのように働きかけるべきか？	
7	哲学対話	ビデオを見て、倫理的な問題について対話する	
評価方法		平常点及び、講義最終日に筆記試験	
備 考			

科目名	社会学	担当教員	向山 慎一	時間数	30	時期	2年	前期
学習目標	主権者として出発するこの時期に社会の中における自分の位置を確認し、歴史的社会的認識を深める。							
教科書	学習資料や記入用プリントを活用する。					授業形態	講義式が中心	
参考書	特に購入しない。							

授業内容

回	項 目	授 業 内 容	備考
1	授業の導入	自分を見つめ、社会の中の自分を社会的に考察する。	
2	地域の歴史	長野県と伊那地域の近現代の歩み	
3	地域の歴史	戦後恐慌と軍国主義化の中の地域	
4	日本を考える	日本文化の形成と現在の日本	
5	地球環境問題①	人間による環境破壊の歴史	
6	地球環境問題②	進歩思想と合理精神のもたらしたもの	
7	世界の中の日本	新自由主義の世界的進展と日本の現在	
評価方法		考査は主内容を事前に提示する。授業中の発言や態度を加味して評価する。	
備 考		全員の集中と真剣な取り組みで充実した授業にしましょう。	

科目名	日本語表現法	担当教員	増田 八生	時間数	30	時期	1年	前期
学習目標	全ての活動の土台となる「国語運用能力」を深める。具体的には文章を読む力、仲間に話す力、仲間の発表を聞く力、考えをまとめたり論文に書いたりする力を養う。							
教科書	『看護系学生のための日本語トレーニング』					授業 形態	講義・演習	
参考書								

授業内容

回	項 目	授 業 内 容	備考
1	日本語表現法入門	自己紹介、講義の流れと受け方	
2	正しい日本語	日本語の特徴と正しい日本語(第1章)	
3	敬語表現	場面に応じた敬語の使い方(第2章)	
4	文章(話)の要点	メモの取り方と要点をおさえた要約(第3章)	
5	文章の要約	課題レポートのポイントと要約(第3、8、9章)	
6	説明・発表	各自のレポートについての説明、発表	
7	説明・発表	説明、発表と相互批評(コメント)	
8	実用的文章	手紙文、メール、案内文、ビジネス文(第6、7章)	
9	話し方・聴き方	電話等での対応(第5章)	
10	レポート・論文1	グラフ・表・データの読み取り方	
11	レオーと・論文2	グラフ・データの分析と結果	
12	レポート・論文3	分析・結果から考察へ	
13	レポート・論文4	レポート(小論文)の作成	
14	まとめ	日本語表現法	
評価方法		提出物・口頭発表・試験等を総合して評価	
備 考			

科目名	英語Ⅰ	担当教員	西垣内 磨留美	時間数	30	時期	1 年 後期
学習目標	1.歯科衛生関連の英語表現を学ぶ。 2.文法、発音、聞き取りなど、英語の基本的能力を高める。 3.歌や映像を通して現実の英語に触れる。						
教科書	Care for All ・ Learn English through Jazz and Pops					授業 形態	講義及び演習
参考書							

授業内容

回	項 目	授 業 内 容	備考
1	英語で話そう(Part 1) 文法 リスニング	I'm a dental hygienist. be動詞・命令文 Fly Me to the Moon	
2	英語で話そう(Part 2) 文法 リスニング	I brush my teeth. 過去形・形容詞 When You Wish upon a Star	
3	英語で話そう(Part 3) 文法 リスニング	The filling came out this morning. 許可、依頼の表現・名詞の複数形 Autumn Leaves	
4	受付 文法 リスニング	May I have your name? 動詞(have)・現在進行形 Misty	
5	よくある症状 文法 リスニング	I have a toothache 希望、時間の表現・助動詞 I Left My Heart in San Francisco	
6	予約 文法 リスニング	I'd like to make an appointment for Friday. 単数／複数・副詞 The Nearness of You	
7	一般歯科用語 体の名称(Part 1) 文法 リスニング	This tooth is decayed. Parts of the Body 数値に関する表現・否定文 All of Me	
評価方法		試験 ・ 授業態度 ・ 出欠席状況 ・ その他 (小テスト)	
備 考		進度によって、授業内容が変わることがある。	

科目名	英語Ⅱ	担当教員	西垣内 磨留美	時間数	30	時期	2年 前期
学習目標	英語Ⅱに引き続き、英語の基礎を確認するとともに、歯科臨床現場で役立つ英語表現を学び、実践的英語能力の向上を目指す。						
教科書	歯科用英語ハンドブック・Learn English through Jazz and Pops					授業形態	講義及び演習
参考書							

授業内容

回	項 目	授 業 内 容	備考
1	体の名称(Part 2) 痛みの表現(Part 1) 文法 リスニング	Parts of the Body(Part 2) Where does it hurt?(Part 1) 数値に関する表現・従属節 Smile	
2	痛みの表現(Part 2) 病歴 文法 リスニング	Where does it hurt?(Part 2) I'd like to ask you about your medical history. 完了形・疑問詞 If	
3	動作(Part 1) 文法 リスニング	Come this way, please. 道案内に関する表現・to不定詞 Because	
4	動作(Part 2) 文法 リスニング	The doctor will take some X-rays of your teeth. 時制・他動詞 Every Breath You Take	
5	薬の説明 文法 リスニング	Take one tablet three times a day. 頻度に関する表現・知覚動詞 What a Wonderful World	
6	ブラッシング 文法 リスニング	You should brush before bedtime. 副詞・助動詞・現在完了形 A Song for You	
7	歯の健康 文法 リスニング	Tartar should be removed at the dentist's. 受動態・復習 That's What Friends Are for.	
評価方法		試験 ・ 授業態度 ・ 出欠席状況 ()	
備 考		進度によって、授業内容が変わることがある。	

科目名	音楽	担当教員	村内 恵子	時間数	30	時期	1年	前期
学習目標	合唱、楽典の勉強、音楽鑑賞を通して、音楽の楽しみを深め、文化的教養を身につける。							
教科書	高校の教科書を使用する。					授業 形態		
参考書	愛唱歌集や音楽通論を使用する。							

授業内容

回	項 目	授 業 内 容	備考
1	音楽学習	合唱練習、楽典の勉強、音楽鑑賞、音楽映画鑑賞	
2	音楽学習	同上	
3	音楽学習	同上	
4	音楽学習	同上	
5	音楽学習	合唱練習、音楽史の勉強、音楽鑑賞、音楽映画鑑賞	
6	音楽学習	同上	
7	音楽学習	同上	
8	音楽学習	同上	
9	音楽学習	合唱練習、作曲家と作品、音楽鑑賞、音楽映画鑑賞	
10	音楽学習	同上	
11	音楽学習	同上	
12	音楽学習	同上	
13	音楽学習	合唱練習、リズムの楽しみ、音楽鑑賞、音楽映画鑑賞	
14	音楽学習	同上	
評価方法		授業態度や試験など	
備 考			

科目名	健康とスポーツ	担当教員	牧内 隆雄	時間数	30	時期	1年	後期
学習目標	スポーツ・運動と健康、疾病や口腔機能との関係について理解し、健康維持増進のための運動実践・指導能力を習得する。							
教科書	指定しない					授業形態	座学および実技	
参考書	授業中に配布する							

授業内容

回	項 目	授 業 内 容	備考
1	ガイダンス 実技 1	本科目の目標、内容、取り組み方および評価方法について解説する。 健康に関係する種々の体力測定項目について解説する。 ストレッチで体をほぐす	
2	スポーツと疾病 実技 2	スポーツが生活習慣病の予防軽減におよぼす影響について解説する。 腰痛・肩こり予防、改善	
3	スポーツ障害 実技 3	スポーツの心身におよぼす悪影響について解説する。 膝痛・こむらがり予防、改善	
4	スポーツと栄養 実技 4	栄養とスポーツパフォーマンスの関係について解説する。 運動レクリエーション	
5	運動と健康寿命 実技 5	健康寿命を延ばすための運動の必要性を解説する。 ニュースポーツ(1)	
6	運動と目的 実技 6	運動に対するモチベーションを高く維持する方法を解説する。 ニュースポーツ(2)	
7	生涯スポーツ 実技 7	個人の目的に適した運動・スポーツを選択、継続する方法を解説する。 ウォーキング	
評価方法		試験、レポート、授業態度、出欠席状況を鑑み、総合的に評価する。	
備 考			